

デジタル・テクノロジーが 『黄金時代』を超えるテニス体験を推進

インクルージョン、アクセス、実験、ソーシャル・エレメントがテニスの新しい時代への重要な鍵となります

メルボルン（オーストラリア）2020年2月25日：次世代のデジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーであるインフォシス（NYSE: INFY）の調査および思想的リーダーシップ部門インフォシス・ナレッジ・インスティテュート（IKI）は、レポート「Tennis Radar: The Next Big Era（テニス・レーダー：次の大きな時代）」の中で、テニスが次世代のファンを魅了するためには、テクノロジーとアナリティクスを活用した新しい包括的な体験が必要であると発表しました。世界中の3,000人のテニス・ファンを対象に調査が行われ、著名な大会主催者、コーチ、プロ・プレーヤー、業界関係者、メディアへのインタビューを実施しました。現在当社は、ATP ツアー、全豪オープン、全仏オープンの公式デジタル・イノベーション・パートナーです。

アクセスおよびインクルージョンの推進と必要性

テニス人口は過去5年間で世界的に10%増加しました。テニスは世界中の新しい競技者や観客に広がり、成功を収めています。しかし、この新たな広がりにもかかわらず、ゲームの専門家は、テニスは「排他的」、「プレーするのが難しい」と思って、テニスの観戦やプレーをしない人々が多数いると示唆しています。

報告書によると、テニスは草の根レベルからグランド・スラムに至るあらゆるレベルでの実験や、テニスに新しいファンをもたらすファンタジー・リーグ、e スポーツ、仮想現実のようなテクノロジーを通じて、より身近になってきているといいます。世界の競技者の4分の1近くが中国出身（23%）であるにもかかわらず、中国は世界のテニスコートの10%とわずかなクラブしか持っておらず、2025年までに4,700億ドルに達すると予想されるスポーツ市場の潜在的成長を圧迫しています。

中国は、コート1面につき平均393人の競技者がいて、その対極にあるフランスは平均87人、オーストラリアは104人、ドイツは122人です。また、テニス・ファンは高齢化しており、テニス・ファンの平均年齢は少なくとも欧米では、人口の平均年齢よりも高いことが分かりました。

データ・アナリティクスとデジタル・テクノロジー：均等な機会の創出

調査では、エリート・レベルには、詳細なプレーヤー・データおよび対戦データのアナリティクスへの平等なアクセスが見られました。当社のStatsLoungeは、すべてのプレーヤーとコーチが自分のパフォーマンスを分析し、高度なフィルタを使って1,000以上のデータの組み合わせからビデオ・クリップを生成し、重要な試合統計データを研究できるように試合データを民主化します。しかし、データに飢えているのはプレーヤーやコーチだけではありません。同レポートによると、ファンはセカンド・スクリーンでの視聴の増加に伴い、より詳細な試合やプレーヤーの洞察を求めていることも分かりました。

体験の時代

報告書では、他の消費者製品と同様、テニスはもはや個別の活動ではなく、コート内外の分散した、共有可能なマイクログ・モーメントからなる体験であることがわかります。

テニス・オーストラリアの最近の調査によると、全豪オープンの雰囲気「楽しさ」は、50歳未満の観客にとっては2番目に重要な要素だということです。「全豪オープンで、私たちが5年間で3倍の売り上げを達成した理由は何だったのか、非常に明確です。グランドスラム・テニス・トーナメントに参加することで、観客を新たなセグメントや地域へと拡大しました。しかし、それには決意が必要です。私たちはテニスと同じように、「ファミリー」ビジネス、音楽フェスティバル、食品業界を重要視しています。そうしないと、成功はありません。」と最高収益責任者兼体験責任者 リチャード・ヒーゼ ルグレイブ氏は述べています。

テニスの発展を牽引するテクノロジー

近年のテニスでは、スポーツのさまざまなレベルで複数の形式やイノベーションが試されていますが、Z 世代 (84%) やミレニアル世代 (85%) を含むあらゆる年齢層のファンは、試合時間はスポーツへの取り組みの主な障害ではないと述べています。この報告書では、アナリティクス・ベースのテクノロジーや仮想および拡張現実テクノロジーを用いて、世界的に新たなファンをスポーツに紹介する機会を見出しました。

テニス・レーダーの調査によると、アナリティクス・ベースの体験は調査したファンの 83% の楽しみを向上させました。例えば、全豪オープンのファンは、VR と AR テクノロジーを使ってシミュレーションされた全豪オープンのセンターコート「ロッド・レーパー・アリーナ」で世界最高のテニス・プレーヤーと対戦することができます。これまでに 125,000 人以上のファンが、全豪オープン、全仏オープン、Nitto ATP ファイナルズや他の ATP イベントで当社の VR を楽しみました。同様に、全仏オープンでは、現実世界と仮想世界のテニスファンの結びつきを強めるために、ローランギャロス e シリーズに e スポーツ・エリアのプロを巻き込む計画です。

エクスペリエンス・インデックス

データとアナリティクスがゲームのファンの楽しみにどのように影響するかを理解するために、インフォシス・ナレッジ・インスティテュートは、アナリティクス・エクスペリエンス・インデックスを作成し、試合テクノロジー、プレーヤー統計、ゲーム・データに関する多次元の質問に対するファンの回答を統合しました。

同調査では、特に若くてテクノロジーに精通している観客の間で、アナリティクスがファンの楽しみを向上させることが分かりました。18 歳から 22 歳の 3 分の 1 以上 (38%) が、テニス・テクノロジーとアナリティクスを熱心に利用しているのに対し、55 歳以上ではわずか 13% でした。

「全仏オープンでは、イノベーション、ソーシャル・テクノロジー、アナリティクスに基づく体験が、テニスをより身近なものにし、既存の世代や新しい世代のテニス・ファンを魅了するために重要な役割を果たしていると考えています。インフォシスとのパートナーシップにより、全仏オープンの DNA が私たちのルーツに忠実であるまま進化し、将来に向けた準備が整うと考えています。」とフランス・テニス連盟スポンサーシップ、ホスピタリティ・アンド・チケティングのディレクター、マイケル・トンジ氏は述べています。

ソーシャル・テクノロジーはテニスの成長にも貢献しており、クラブ・レベルでもテニス・コネクト (Tennis Connect) のようなアプリがあり、ユーザはコートの予約をしたり、他のプレーヤーを招待したりできます。同様に、テニス・オーストラリアのブック・ア・コート (Book a Court) プラットフォームでは、いつでもどこでもコートの予約ができ、携帯電話での支払いが可能です。フランス・テニス連盟は、2019 年 4 月に Ten' Up アプリの配信を開始し、ダウンロード数は 20 万を超えています。インフォシス最高執行責任者 U.B. プラヴィン・ラオは、「テニスをプレーしたり観戦したりすることが簡単にできなければ、テニスは人々の共感を得られません。当社は、ATP ツアー、全豪オープン、全仏オープンのデジタル・イノベーション・パートナーであることを誇りに思っています。この調査は、テニスが試合をプレーし、観戦し、理解する機会を増やすことができれば、テニスはさらに成功することができ、そのためにはテクノロジー、特にソーシャル・テクノロジーとアナリティクスに基づく体験が重要な役割を果たすであろうことを強調しています。」と述べています。

完全なレポートは、次のサイトをご覧ください。

<https://www.infosys.com/navigate-your-next/research/tennis-radar-report.html>

編集者へのメモ

* [Wimbledon.com](https://www.wimbledon.com), [USOpen.org](https://www.usopen.org), [RolandGarros.com](https://www.rolandgarros.com), [Ausopen.com](https://www.ausopen.com)

調査方法

2019 年 10 月、インフォシス・ナレッジ・インスティテュートは匿名形式で、オーストラリア、中国、フランス、ドイツ、インド、スペイン、英国、米国の 8 カ国のテニスファン 3,085 人を対象にオンライン調査を実施しました。また、プレーヤー、コーチ、イベント主催者、クラブ・オーナー、設備メーカー、メディア、放送局など、30 名以上のステークホルダーに電話インタビューを行い、見識を深めました。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングのグローバル・リーダーです。当社は 46 カ国の顧客のデジタル変革を実現しています。過去 30 年間グローバル企業のシステムや業務を管理してきた経験に基づき、お客

様のデジタル変革を専門的に誘導します。AI による変更実行の優先順位化、アジャイル・デジタルによるビジネス強化、優れたサービス提供により、お客様に高い評価をいただいています。当社は常に学習し、イノベーション・エコシステムのデジタル・スキル、専門知識、アイデアを活用して継続的な改善を実現しています。

詳しくは、www.infosys.com をご覧になり、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように企業のデジタル改革を支援しているかご確認ください。

セーフハーバー条項

本リリースに記載されている当社の将来的な成長の予測に関する記述の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の『セーフハーバー条項』に該当する将来の見通しに関する情報が含まれており、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。これらの記述に関連するリスクや不確定要素には、収益の変動、為替レートの変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技術をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界や係争中の訴訟や政府の調査の結果に影響を与える経済情勢などが含まれます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2018 年度会計年度 (2019 年 3 月 31 日付) 年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、追加で書面および口頭により将来の展望を随時発表する場合がありますが、法令で定められている場合を除き当社または代理人により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先

インフォシスリミテッド 日本オフィス

マーケティング本部長 安藤 03-5545-3257 Email jo_ando@infosys.com